

事故収束作業に伴い発生したガレキ・伐採木の管理状況(H24.4.10時点)

保管場所	エリア境界空間線量率 (mSv/h)	種類	保管方法	保管量*	前回報告比* (H24.3.6)	エリア占有率
固体廃棄物貯蔵庫	0.07	コンクリート、金属	容器	410 個	+ 10 個	45 %
A: 敷地北側	0.40	コンクリート、金属	仮設保管設備	11,000 m ³	+ 2000 m ³	91 %
B: 敷地北側	0.04	コンクリート、金属	容器	450 個	- 個	98 %
C: 敷地北側	0.01	コンクリート、金属	屋外集積	23,000 m ³	+ 3000 m ³	68 %
D: 敷地北側	0.02	コンクリート、金属	屋外集積	2,000 m ³	- m ³	56 %
E: 敷地北側	0.02	コンクリート、金属	屋外集積	2,000 m ³	+ 1000 m ³	69 %
F: 敷地北側	0.15	コンクリート、金属	容器	100 個	- 個	100 %
合計 (コンクリート、金属)				44,000 m ³	+ 5000 m ³	72 %
G: 敷地北側	0.01	伐採木	屋外集積	17,000 m ³	+ 1000 m ³	80 %
H: 敷地北側	0.02	伐採木	屋外集積	16,000 m ³	- m ³	88 %
I: 敷地北側	0.03	伐採木	屋外集積	11,000 m ³	- m ³	100 %
J: 敷地南側	0.08	伐採木	屋外集積	12,000 m ³	- m ³	77 %
K: 敷地南側	0.05	伐採木	屋外集積	5,000 m ³	- m ³	100 %
合計 (伐採木)				60,000 m ³	+ 1000 m ³	86 %

* 容器は10個未満、容積は1,000m³未満を四捨五入



覆土式一時保管施設の主要仕様

大きさ：約 80m×約 20m

高さ：約 4.5m（最大約 6m）

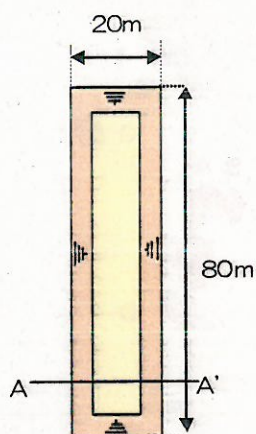
設置個数：2 箇所

保管容量：4000m³/箇所

上 部：覆土（厚さ 1m 以上）、遮水シート、保護シート

底部、法面部：保護土、遮水シート、ベントナイトシート

平面図



A-A' 断面図

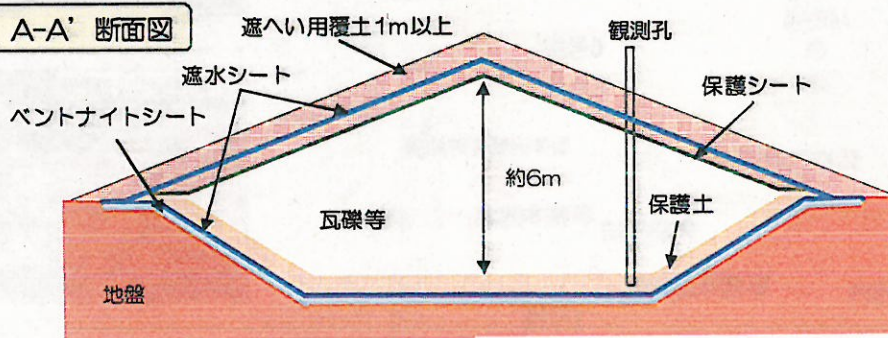


図 覆土式一時保管施設概略図

覆土式一時保管施設からの直接線並びにスカイシャイン線による敷地境界線量率を評価した結果、2つの保管施設を合わせた敷地境界での放射線量率は約 $3.7 \times 10^{-3} \mu\text{Sv/h}$ となる。なお、搬入する瓦礫等の表面線量率を 30mSv/h として評価した。